

産業厚生建設委員会会議録（令和2年9月10日）

出席委員 尾崎委員長 角川副委員長 脇坂委員 浦田委員 開田委員 中川委員
高橋委員

欠席委員 なし

説明のため出席した者 上田市長 石川副市長 網谷産業民生部長 岩城建設部長
藤田産業民生部理事 澤口建設部参事 結城市民健康セン
ター所長 黒川農林課長 石川市民課長 石川福祉介護課
長 長崎商工水産課長 高倉まちづくり課長 荒俣公園緑
地課長 長瀬上下水道課長 石坂生活環境課主幹 小川観
光課主幹 北島建設課主幹

職務のため出席した事務局職員 藤名局長 永田主幹

午前10時00分開会

尾崎委員長 ただいまから、令和2年9月定例会産業厚生建設委員会に付託された案件を
審査するため、本日の委員会を開催いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第1、会議録署名委員の指名をいたします。

脇坂章夫委員、角川真人副委員長にお願いいたします。

日程第2、付託案件の審査に入ります。

議案第50号、議案第51号、議案第54号及び議案第66号の4議案を一括して議題といた
します。

まずは予算関係の議案についてです。

常任委員会に付託されました予算案の説明については、全体委員会でのみとすること
となっております。よって、議案第50号 令和2年度滑川市一般会計補正予算（第4号）
及び議案第51号 令和2年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）につい
ては当委員会での説明はしないことといたしますが、当局から追加して説明があればお願
いいたします。

（特になし）

尾崎委員長 ないようでしたら、これより質疑に入ります。

質疑のある委員、追加で説明を求めたい委員は、挙手の上、発言願います。

ありませんか。

開田委員 そうしましたら50-13ページで、商工費の工業振興費というのがありました。

工業振興のために10社の固定資産税の補助という説明だったと思うんですが、10社というのは限られた数なんですか。

長崎商工水産課長 10社というのは、今回たまたま補助金に該当する企業が10社だということでございます。こちらの補助金については、新規に3名の雇用要件もございまして、そういった要件を満たす事業所が10社あったということでございます。

開田委員 そしたら、要は、コロナのためにこういうふうな申請がありました、それに対して滑川市としては固定資産税の補助をしましょうという数が10社だったということなんですね。

長崎商工水産課長 そのとおりでございます。今回の対象になっている10社というのは令和元年に設備投資を行った事業所でありまして、令和2年度にその分の固定資産税がかかっております。その固定資産税相当額を助成するものでございます。

以上です。

上田市長 コロナは関係ない。

長崎商工水産課長 ええ。コロナとは関係のない、それ以前にもう投資があったものでございます。

開田委員 そしたら、設備投資をされた方々は固定資産税ゼロということなんですか。

長崎商工水産課長 今回新たに投資された部分に関しては固定資産税相当額ですので、その部分については、税金は納めていただきますけれども、それと同じ、同額を助成するものでございます。

開田委員 分かりました。

尾崎委員長 ほかに質疑ございませんか。

中川委員 50-13ページの水産業振興費の漁業振興事業費920万ですが、地下タンクの補修というふう聞いておったんですが、どのような補修のことをやられるのか。地下タンクも耐用年数が決まるとははずながで、それを過ぎると入替えというようなことを聞いておるんですが、その点はどうでしょうか。

長崎商工水産課長 今回は地下タンクの内部のコーティングなどを予定しておりまして、この給油施設、造りましてから約40年がたっております。来年中にその耐用年数が過ぎ

るということで、今回、内部のコーティングをFRP（繊維強化プラスチック）で内部をコーティングし直すものでございます。

中川委員 そういうコーティングだけで耐用年数をクリアするって初めて聞いた。

長崎商工水産課長 内部のコーティングだけで、耐用年数が来ていますのは内部の部分でございまして、コーティングをし直すことで消防の関係の部分はクリアするものでございます。

中川委員 それは入替えるより安くつくもんけ。

長崎商工水産課長 入替えるとなるとかなりの費用がかかるかと思っておりますので、一般的には内部をコーティングし直すということで対応されております。

中川委員 私なんかはあまり知識ないけど、よく聞くのは、ガソリンスタンド等で、耐用年数が来るからついでにスタンドもやめるわということをよくやっておられるから、それでいいのかなと思って今聞いたがで。分かりました。

尾崎委員長 ほかに。

浦田委員 1点質問なんですけど、この付託にあるかどうかまず確認せんんですが、歳入の50-9の17款寄附金なんですけど、2目で衛生費寄附金というもの、事業名が保健衛生費寄附金というもので受け取っているんですけども、この保健衛生というのはリンクすると第4款の衛生費に入るのかどうか、あるいはこの寄附金100万円が4款の衛生費とどうリンクするのか確認をしたい。

石川市民課長 今回寄附をいただいたのは衛生費寄附金として計上させていただいておりますが、これにつきましては、寄附者からコロナ対策に充当していただきたいということで、受けるほうは一応衛生費寄附金として受けております。当然、コロナ対策として何に活用するかという話の中で、今回におきましては、子ども課関係といえますか、図書館ですとか子ども図書館の教育費で実施するコロナ対策に充当させていただくというふうに行っているところでございます。

浦田委員 そうしたことだろうと想定はしていたんだけど、そういう場合、例えば寄附者の意思と使う側の意思と、ミスマッチしているのかなというニュアンスがしたもんだからちょっと確認。要するに、衛生費に使ってくださいよという意思表示に基づいて寄附をした側と、使う側はコロナの関係で、衛生費のコロナのところを使えば、款項目で言う衛生第4款の歳出で使うという話になるんだろうと思うんだけど、目的から言うたら。それが今度は教育費10款になるよというのはちょっと違和感があるなという感じで

確認させていただきました。

石川市民課長 議員さんのおっしゃるとおり、コロナ対策の中でも教育費関係に使ってくださいとか、そういったような話であれば寄附の受け方というものがあるかと思いますが、現在、受けた際には、あくまでもコロナ対策という話だったもので、こういったコロナ対策に使うかという選定まではされていない状況でございましたので、衛生費として寄附を受け、歳出先の充当におきましては、コロナ対策があるものの費目に充当しているというものでございます。

浦田委員 まあよろしいでしょう。納得はせんがだけど。

尾崎委員長 ほかに質疑ございませんか。

(質疑する者なし)

尾崎委員長 ないようでしたら、引き続き予算以外の議案についての説明に移ります。

議案第54号 滑川市重度心身障害者等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定についてから順次、当局よりご説明願います。

石川福祉介護課長 では、議案集54-1ページをお願いいたします。

議案第54号 滑川市重度心身障害者等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。

説明のほうは資料集の7ページのほうで行います。7ページをお願いいたします。

改正理由といたしましては、富山県重度心身障害者等医療費助成事業補助金交付要綱の一部が改正され、令和2年10月1日に施行されることから、当該条例において引用している部分について、所要の改正を行うものでございます。

改正内容といたしまして、現行65歳未満の方につきましては、重度の中で身体障害者手帳1級、2級または療育手帳A所持の方が自己負担ゼロになっておりましたが、その方々と同内容の助成を行うものとして精神障害者保健福祉手帳1級所持者を追加するものでございます。

精神の1級の方につきましては、現在、精神の通院については、別の助成で自己負担1割となっておりますが、その1割分及び精神以外の通院、入院に関しましても自己負担分というものを助成することになります。

施行期日は令和2年10月1日でございます。

8ページからの新旧対照表につきましては、説明を省略させていただきます。

以上です。

尾崎委員長 北島建設課主幹。

北島建設課主幹 それでは、議案集の66-1ページをご覧ください。

議案第66号 市道の路線認定及び廃止についてでございます。

次のページをご覧ください。

路線認定につきましては、記載のとおり10路線がございます。

1 路線目は路線番号A-416番で、路線名は旧国道江尻線、起点が下梅沢、終点が江尻でございます。

路線認定の位置につきましては、議案資料集の11ページをご覧ください。

本路線は、起点側の旧国道8号、現在の県道富山滑川魚津線と終点側の県道辻滑川線を結ぶ道路でございます。市は昨年度から、レストラン田園から旧国道8号までの区間を拡幅改良し、豊富産業様横に新しい交差点を整備する工事、有金下梅沢線道路改良工事を実施しているところでございます。これにより、既存の旧8号と市道下梅沢旧国道線の交差点、魔法のパン屋さんがあるところの交差点に近接して新たに交差点ができますことから、大変危険なことになってしまうことから、市道下梅沢旧国道線の一部を車両通行止めとすることとしましたことから、起点の位置を変更し、路線認定するものでございます。

続きまして、議案資料集の12ページをご覧ください。路線番号がB-215番で、路線名は下梅沢旧国道線。起点、終点はいずれも下梅沢でございます。

本路線は、起点側の主要地方道滑川上市線と、終点側の市道有金下梅沢線を結ぶ道路でございます。先ほどの路線同様に、有金下梅沢線道路改良工事の実施に伴い新しい交差点ができることや、安全な車両通行を確保するため、市道認定区間の一部を通行止めとするため、終点の位置を変更し、路線認定をし直すものでございます。

続きまして、議案資料集の13ページをお願いいたします。

路線番号B-216番から220番までの5路線は、いずれも起点、終点は上小泉でございます。各路線は、上小泉地内において民間事業者が住宅団地を造成した際に新たに整備した道路でございます。都市計画法の規定に基づき、土地の帰属を受けた道路を市道として認定するものでございます。5路線合わせて延長約375メートルを認定するものでございます。

続きまして、14ページをお願いいたします。

路線番号B-221番から223番までの3路線は、いずれも起点、終点は上島でございま

す。各路線は、上島地内において民間事業者が住宅団地を造成した際に新たに整備した道路であります。都市計画法の規定に基づき、土地の帰属を受けた道路を市道として認定するものでございます。3路線合わせて延長約275メートルを認定するものでございます。

続きまして、廃止路線についてでございます。

議案資料集15ページ、路線廃止図をお願いいたします。

路線番号のA-6番で、路線名は国道江尻線でございます。市道有金下梅沢線道路改良工事の実施に伴い、起点を旧国道8号の海側から山側に変更するため、路線を廃止するものでございます。

次のページをお願いいたします。

路線番号B-66番で、路線名は下梅沢旧国道線でございます。市道有金下梅沢線道路改良工事の実施に伴い、終点を旧国道8号山側から市道有金下梅沢線側に変更するため、路線廃止するものでございます。

以上でございます。

尾崎委員長 質疑に入ります。

質疑のある委員は、挙手の上、発言願います。

ありませんか。

今の新しく路線認定されたB-216からB-226までは除雪対象になるんですか。

北島建設課主幹 除雪対象路線とはなりません。開発行為が行われる際に、除雪対象路線とならないことを説明するようにお願いしております。

尾崎委員長 分かりました。

では、ほかに質疑ありませんか。

(質疑する者なし)

尾崎委員長 では、質疑を終結いたします。

続いて討論に入ります。

討論をご希望される委員の方はお申出願います。

(討論する者なし)

尾崎委員長 申出がないので、討論を終結いたします。

それでは、これより挙手により採決を行います。

議案第50号、議案第51号、議案第54号及び議案第66号の4議案を一括して採決を行い

ます。

議案第50号 令和2年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

第1表 歳入 所管部分

歳出 第3款 民生費（ただし、子ども課所管分を除く）

第4款 衛生費

第6款 農林水産業費

第7款 商工費

第8款 土木費

第12款 諸支出金（ただし、子ども課所管分を除く）

議案第51号 令和2年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第54号 滑川市重度心身障害者等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

議案第66号 市道の路線認定及び廃止について

賛成の委員の挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

尾崎委員長 賛成全員。よって、付託案件、議案第50号、議案第51号、議案第54号及び議案第66号の4議案については、原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

午前10時20分議決

尾崎委員長 以上で付託案件の審査は終わりました。

日程第3、その他事項で当局のほうから何かありましたらお願いいたします。

結城市民健康センター所長 お願いいたします。

それでは、先日の9月8日の定例会において、開田議員、竹原議員の議会質問答弁でお伝えしておりましたが、今年度の高齢者インフルエンザ予防接種にかかる自己負担について、改めてご説明させていただきます。

高齢者インフルエンザ予防接種については、例年1人4,500円の委託料のうち3,300円を市が負担し、1,200円を自己負担としておりましたが、今年度に限り自己負担を無料としたいと考えております。

新型コロナウイルスの重症化のリスクが高いとされる高齢者がインフルエンザの予防接種の予防接種を受けることで、インフルエンザの罹患や、仮にかかっても症状を抑

制することにつながり、今シーズン、インフルエンザとコロナウイルスの2つの感染症で心配されております医療機関受診の混乱を少しでも抑えること、そして何より市民の健康を守る一助とするための施策としたいと考えております。

予算につきましては、既定の予防接種事業費で対応し、不足分につきましては、予防費内の執行状況を見ながら、最終的な不足分について補正予算を組ませていただきたいと考えております。

以上、よろしくお願いたします。

尾崎委員長 質疑に入ります。

何か質疑のある委員の方は、挙手の上、発言願います。

浦田委員 今ほど説明ありがとうございました。多分、昨年度まで高齢者予防接種、新年度予算ではたしか2,200万ほど計上されたかなと思っております。その中で今の1,200円分を補助したいという趣旨だろうというふうに思っております。そして、不足分に関しては補正をかけるという形でよろしいですね。

結城市民健康センター所長 そのような予定でおります。

3,300円の市の負担分につきましては、例年、対象者、今年ですと約9,800人の予定なんですけれども、接種率が60%ほどとなっております。それ以外の1,200円の分の負担ということになりますと、単純に700万円ほどの追加のほうが出てくるんですけれども、まずはその分を既定の予算の中で見ていきまして対応したいと考えております。

以上です。

浦田委員 よろしいです。

尾崎委員長 その他について当局のほうからはほかにありませんか。

(特になし)

尾崎委員長 ないようですので、委員の方から何かありませんか。

(質疑する者なし)

尾崎委員長 ないようですので、以上で産業厚生建設委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午前10時24分閉会